

保護者の皆様

伊達市立伊達小学校長

登坂 恭之

平成30年度 全国体力・運動能力、運動習慣調査の結果について

平成30年6月に実施しました「平成30年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査(新体力テスト)」について、全国や北海道の集計結果と比較した本校5年生の結果がまとまりましたのでお知らせします。

この結果を参考に、今後の日常生活の過ごし方や体力づくりについて、ご家庭で話題にいただければ幸いです。

本校では、今回の結果をもとに今後も児童の体力向上を目指し取り組んでまいります。

① 調査結果の概要 ※下段は全国平均値です

五年生	性別	握力 (Kg)	上体 起こし (回)	長座 体前屈 (cm)	反復 横とび (点)	20m シャトルラン (回)	50m 走 (秒)	立ち 幅とび (cm)	ソフトボール 投げ (m)
	男	▽ 16.54	◎ 19.95	≒ 33.31	≒ 42.1	▽ 52.15	▼ 9.37	≒ 152.24	○ 22.15
	女	▽ 16.15	◎ 18.96	≒ 37.62	≒ 40.32	▼ 41.88	≒ 9.6	≒ 145.97	▽ 13.77

※記号は平成30年度の全国平均値に対し、

「◎：大きく上回っている」「○：上回っている」「≒：同程度」「▽：下回っている」「▼：大きく下回っている」を表します。

② 調査からみられる特徴及び傾向

- ・上体起こしについては、男女ともに全国平均を大きく上回っていることが分かりました。
- ・男女ともに、「握力」と「20mシャトルラン」の2種目において、全国の平均を下回る結果となりました。特に女子の「20mシャトルラン」については、全国の平均からの差が大きいことが分かりました。
- ・北海道教育委員会による調査では、小中・男女いずれも全国平均を下回っています。しかし、小学校女子は上昇し、全国との差を縮めていることが分かりました。
- ・「児童生徒質問紙調査」からわかる傾向として、道内の小学生は、「中学校に進んだら(中学校を卒業した後)、自主的に運動やスポーツをする時間をもちたい」と考えている児童の割合が全国平均を上回っていることが挙げられます。また「毎朝朝食を食べる」割合は、全国平均を下回っていることが明らかになっています。
- ・スポーツ庁の分析から、「毎日朝食を食べる」、「毎日決まった時間に夕食を食べる」、「睡眠時間8時間以上」などの生活習慣がある児童は、体力合計点の平均値がそれ以外のグループに比べて高いことが分かっています。